



## 《コースのごあんない》

このコースは、歩く健康づくり推進のため元吉原地区に設けたもので、元吉原まちづくりセンター、吉原駅を起点に毘沙門天、葉隠塚、木之元神社、黒露の碑、富士と港の見える公園、三本松など12ヶ所の史跡と伝説をたずねる1周6.1kmのコースです。

(所要時間約2時間)

## 《コース周辺の見どころ》

あしたかじんじゃ

### 愛鷹神社（大野新田）

愛鷹神社は、愛鷹山をめぐる地域のみ分布する神社で富士市内には8社あります。祭神は「ににぎの尊」で、本社は愛鷹山頂の愛鷹神社あるいは桃沢神社と呼ばれる神社です。この愛鷹神社は、寛文11年（1671）5月に創建され、明治8年に村社に列せられました。

たかはしゆうきち

### 高橋勇吉の碑

三新田（大野新田・榎新田・田中新田）80haの水田を水害から守った天文堀は、大野新田村の百姓高橋勇吉が14年の歳月をかけて嘉永3年（1850）に完成させたものです。勇吉は天保の飢饉から三新田の排水方法を考え、幾多の苦勞の末、村役人の賛同と幕府の許可を得て実現させました。天文堀の呼び名は、勇吉が天文に詳しくたことからつけられたものです。

びしゃもんでん

こうきゆうざん

みょうほうじ

### 毘沙門天（香久山 妙法寺）

旧東海道沿いに位置する毘沙門天はダルマ市が開かれる毘沙門天祭で有名であり、「びしゃもんさん」と呼ばれ親しまれています。旧暦の正月7・8・9日には大勢の人々で賑わい、全国各地で製作された開運厄除けになるといわれるダルマが並びます。毘沙門天祭にあわせてダルマ市が開かれるようになったのは、明治時代末期と伝えられています。

はぐれつか

### 葉隠塚

妙法寺本堂の裏手に2基の墓があり、葉隠塚と呼ばれています。これは、寛永年間（1624～44）頃、間の宿柏原で起きた刃傷事件で亡くなった九州佐賀鍋島藩の2人の武士の墓です。葉隠とは武士道について記した書物で、これを修養書とした鍋島藩の武士を葉隠武士といったことからこの塚名が付けられました。

あしたかじんじゃ

### 愛鷹神社（今井：富士市指定文化財五輪塔出土地）

昭和39年12月、この神社南側の公園を造成しているときに2基の五輪塔が発見されました。そのひとつに文保2年（1318）12月8日と刻まれており、鎌倉時代のものであることがわかりました。現在、市指定文化財に指定されており、市立博物館に保管されています。

きのもとじんじゃ

### 木之元神社

吉原湊の渡船場付近（現在の鈴川・今井地区）に設置された元吉原宿は、寛永年間（1624～44）に漂砂や高波の被害を受け、依田橋村の西方に所替（宿の移転）を行いました。宿と共に神社寺院の多くも移転しましたが、この木之元神社は、地元住民の希望により地主神として当地に残されました。中央町にある木之元神社は、その時に分社されたものです。境内には、市指定天然記念物のムクロジが植えられています。

こくろ

ひ

### 黒露の碑（黒露墓）

黒露は山口太郎左衛門守常といい、貞享3年（1686）甲斐に生まれ幼少から山口素堂のもとで俳諧、琴、茶の湯を学び、後年には駿河においても活躍しました。この碑は、黒露の没年である明和4年（1767）に五柳舎三遅ら門下により建立されました。当初は、富士山が美しく見える観音堂の傍らにありました。「木からしの扇や 不自農 うら表」黒露

にほんざん

みょうほうじ

### 日本山 妙法寺

大正13年、前年に起きた関東大震災を契機に、満州で布教を続けていた藤井日達上人により国の安泰を祈念する場所として開創されました。敷地内には異国の諸仏が祀られ、ガンジー胸像や仏舎利塔が建立されています。

ふじ

みなと

み

こうえん

### 富士と港の見える公園

(沼川石水門記念碑)

明治18年沼川の湊口に築かれ80年間逆潮を防いできた石水門は、昭和41年に田子の浦港の築成に伴って解体されました。この記念碑は、「六ツ眼鏡」の愛称で親しまれてきた石水門が果たした多大な役割を後世に伝えるために建てられたものです。

(阿字神社)

天正年間（1573～92）頃、旅を続けていた「阿字」は沼川と和田川の合流する三股淵に住む大蛇のいけにえに選ばれてしまいました。共に旅をしていた仲間は、阿字の運命を悲嘆して柏原の沼に身を投じて亡くなりました。阿字は保寿寺の和尚により命を救われましたが、仲間の悲報を聞き、後を追ったと伝えられています。東田子の浦駅東側には同行6人の巫女を祀る六王子神社もあります。